

5-2-2 短期大学教育改革ICT戦略会議

<事業計画>

短期大学の教育力を強化するため、ネットワークを駆使した短期大学間及び産学による連携プログラムの内容、仕組み等について探求し、可能な範囲で連携を実験するとともに、情報通信技術を活用した就業力教育の実践方法について理解を深める。

<事業の実施状況>

事業の実施は、「短期大学会議教育改革ICT戦略運営委員会」を継続設置して、短期大学教育改革ICT戦略会議を開催した。以下に、委員会の活動状況について報告する。

短期大学会議教育改革ICT戦略運営委員会

平成23年4月30日、5月23日、7月25日、12月3日、平成24年3月8日、3月21日に延べ34名（平均5名又は6名）が出席し、6回開催した。短期大学の教育力を強化するため、全国の短期大学を対象に「短期大学教育改革ICT戦略会議」を実施して、短期大学が目指すコミュニケーション能力と社会が求める能力のマッチング、課題の共有と解決を図るための連携について検討した。

(1) 開催計画の準備

「社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目指して」と題して、9月7日にアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催し、企業の採用担当者を招き、企業人から見たコミュニケーション能力についての判断基準を伺い、短期大学間及び産学の連携の中でどのように新しい授業づくりを考えるべきか、理解を共有することを目指して、以下の通りの開催要項を策定した。

平成23年度 短期大学教育改革ICT戦略会議開催要項

日 時：平成23年9月7日（水） 13：30～16：30

場 所：アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）

【開催テーマ】社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目指して

【開催趣旨】

社会・企業が即戦力となる人材育成を強く望んでいることに加え、大学・短期大学においてもキャリア教育・職業教育が義務化されたことから、各大学は就業力の向上に向けた教育の充実に取り組んでいる。しかし、入学者の基礎的能力低下の問題もあり、ジェネリックスキル（社会人基礎力）の育成が重要な課題となっている。

本会議では、社会が強く求めるジェネリックスキルの中核をなす「コミュニケーション能力」の育成に焦点をあて、限られた修学期間の中で各大学、各教員がどのように取り組み、どのような課題・問題を抱えているのか、社会・企業が何を期待・要望しているか等について事例紹介・討議を通じて明らかにし、大学・教員間だけでなく社会・企業関係者が連携を深め、この課題を解決する契機としたい。

【開会挨拶】 短期大学会議教育改革ICT戦略運営委員会 戸高 敏之 委員長

【事例紹介1】「就職できるコミュニケーション能力育成」

桜の聖母短期大学 進路部長、生活科学科教授 加藤 竜哉 氏

授業科目だけでなく正課外活動での体験を通じて、就業社会で役立つコミュニケーション能力を育成している。また、地元企業・卒業生との連携により実務教育に対する企業ニーズを把握し、教育内容に反映している。これらの取り組みについてコミュニケーション能力の診断・評価方法および教育効果、支援体制などにも言及して紹介する。

【事例紹介2】「日本語運用能力の向上とコミュニケーション能力育成をめざして」

大阪城南女子短期大学 人間福祉学科教授 小林 孔 氏

共通基礎科目を設置して、基礎的日本語能力である「書く・話す・読む」の育成を強化するとともに、応用的発展的な科目を設け、学生自らが地元地域を取材し、ミニコミ誌を発行する中で、実際に自分のことばと視点で取材・編集、情報を伝える力を育成しており、これらの取り組みを通じたコミュニケーション能力の育成について紹介する。

【全体討議】 「コミュニケーション能力の育成を連携の中で探る」

学生のコミュニケーション能力の育成が社会から強く望まれ焦眉の課題となっている。しかし、「コミュニケーション能力」は多様な基礎能力を基盤に発揮できる総合的な能力であり、育成の在り方、到達目標の想定も多様である。本討議において、事例紹介や本運営委員会の提案及び参加教職員の経験談など企業関係者を含めた意見交換を通じて、短期大学が目指す能力と社会が求める能力のマッチングや短期大学が取り組むべき課題の共有の可能性など、より充実したコミュニケーション能力育成を目指した大学・教員、企業による連携の契機としたい。

<事例紹介>

株式会社ホテルオークラ	事業管理部総務人事課	坂東 八栄 氏
株式会社オンワード樫山	東京地区・関東管理部販売人財課	森村 国生 氏
株式会社スタジオアリス	人事部採用担当部長	大西 康雄 氏

<討議>

基礎能力として必要なコミュニケーション能力の洗い出し、社会とのマッチング、課題への取り組みについて、大学・教員、企業による連携を織り交ぜた進め方を本委員会から提案し、参加者を交えて意見交換する。

(2) 開催結果

参加者は21短期大学から24名と昨年度より減少した。

- ① 2短期大学からの取り組み事例から、教職員間の連携強化、授業科目間の連携、学生カルテの導入が課題であることが明らかになった。
- ② 企業の職種・業種によって必要とされる能力が異なるが、「人間関係力」「相互理解力」「チームワーク力」などを求めている。
- ③ 短期大学と企業が求める人材像にミスマッチが生じていること、教員が企業での就労経験が少ないため、社会が求めるコミュニケーション能力を教育に反映することが困難なことが明らかになった。
- ④ そこで、運営委員会から本協会をプラットフォームとして、企業からの情報提供、交流会・研究会の開催などを通じて、短期大学と企業の連携強化を図ることの提案を行い、情報交流をシステム化するための支援の必要性を確認した。

なお、開催結果の詳細は、巻末のⅢ. 事業報告の附属明細書【2-15】を参照されたい。